



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月8日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社今仙電機製作所  
コード番号 7266 URL <http://www.imasen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増谷 修

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 坪内 明

TEL 0568-67-1211

四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	63,775	19.3	5,318	61.5	4,811	50.0	2,675	62.5
22年3月期第3四半期	53,454	△25.8	3,293	△21.9	3,206	△18.4	1,646	△28.8

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	149.98		134.63	
22年3月期第3四半期	93.47		84.47	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
23年3月期第3四半期	62,192		31,669		49.4	1,712.30		
22年3月期	61,212		29,600		46.9	1,615.57		

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 30,748百万円 22年3月期 28,705百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	7.00	—	10.00	17.00
23年3月期	—	9.00	—		
23年3月期 (予想)				11.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 有

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	83,300	12.5	6,300	21.5	5,800	9.8	3,400	11.0	189.34	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名

）、除外 一社（社名

）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 18,172,737株 22年3月期 17,982,967株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 215,263株 22年3月期 215,032株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 17,838,828株 22年3月期3Q 17,615,358株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 添付資料の目次

1．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2．その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3．四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(7) その他の注記事項 .....	10
4．補足情報 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資に持ち直しがみられるなど緩やかな景気回復基調が続いたものの、雇用・所得環境は依然厳しく、円高傾向が長期化するなか、回復ペースは鈍化しており先行きは不透明な状況が続いております。

自動車業界におきましては、国内市場においては、補助金制度の打ち切りによる販売の減少が見られたものの、海外市場においては、米国では緩やかな回復が続く、中国などの新興国の販売は好調を維持しました。

このような経営環境の中で当社グループは、「経営環境の変化を先取りし、柔軟に対応できる経営体質を構築する」を目標に、再び成長路線へ向けて事業を展開するため、生産体制、事業構成の最適化に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期の売上高は63,775百万円（前年同期比19.3%増）、経常利益は4,811百万円（前年同期比50.0%増）、四半期純利益は2,675百万円（前年同期比62.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (a) 自動車部品関連事業

自動車部品関連事業につきましては、国内及び中国、タイなどのアジア地域での受注が増加したことにより、売上高は60,581百万円（前年同期比19.8%増）、営業利益は5,199百万円（前年同期比61.1%増）となりました。

#### (b) ワイヤハーネス関連事業

工作機械関連機器向け受注の緩やかな回復傾向が続いており、売上高は1,662百万円（前年同期比16.0%増）、営業利益は41百万円（前年同期は40百万円の損失）となりました。

#### (c) 福祉機器関連事業

上期に電動車いすの売上が減少した影響から、売上高は821百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は83百万円（前年同期比24.9%減）となりました。

#### (d) 自動車販売関連事業

減税や補助金効果により売上高は増収となったものの、依然厳しい状況が続いており、売上高は709百万円（前年同期比9.3%増）、営業損失は20百万円（前年同期は20百万円の損失）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

#### (イ) 資産

当第3四半期末における総資産は、62,192百万円（前期末比979百万円の増加）となりました。流動資産は、現金及び預金が減少（2,326百万円）しましたが、受取手形及び売掛金の増加（2,925百万円）などにより、36,953百万円（前期末比985百万円の増加）、固定資産は、有形固定資産において21,221百万円（前期末比245百万円の減少）、投資その他の資産において3,662百万円（前期末比240百万円の増加）となり、25,238百万円（前期末比6百万円の減少）となりました。

#### (ロ) 負債

当第3四半期末における負債は、30,522百万円（前期末比1,089百万円の減少）となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金が増加（572百万円）しましたが、未払法人税等が減少（1,314百万円）したことなどにより、22,194百万円（前期末比771百万円の減少）、固定負債は、長期借入金の減少（534百万円）などにより、8,327百万円（前期末比318百万円の減少）となりました。

#### (ハ) 純資産

当第3四半期末における純資産は、四半期純利益（2,675百万円）などにより、31,669百万円（前期末比2,068百万円の増加）となりました。

#### キャッシュ・フローの状況

当第3四半期において営業活動の結果得られた資金は、1,758百万円（前年同期比43.5%減）、投資活動に使用した資金は、2,502百万円（前年同期比417.3%増）、財務活動に使用した資金は、1,454百万円（前年同期比6.9%減）となりました。

この結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は6,904百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,758百万円の増加となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が4,742百万円、減価償却費が2,983百万円であったものの、売上債権の増加額が3,343百万円、法人税等の支払額が3,016百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,502百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出が2,098百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,454百万円の減少となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出が628百万円、リース債務の返済による支出が820百万円であったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期(平成22年4月1日から平成23年3月31日)の連結業績予想につきましては概ね計画通り推移しており、平成22年10月26日に公表しました予想から変更はございません。

なお、これらは当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出については、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

2. 法人税等の納付税額の算定方法

法人税等の納付税額の算定については、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号)を適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,237	9,564
受取手形及び売掛金	22,477	19,551
たな卸資産	5,239	4,928
その他	2,001	1,926
貸倒引当金	2	2
流動資産合計	36,953	35,968
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,790	7,192
機械装置及び運搬具(純額)	5,595	6,515
その他(純額)	8,835	7,759
有形固定資産合計	21,221	21,467
無形固定資産		
その他	354	356
無形固定資産合計	354	356
投資その他の資産		
投資有価証券	3,340	3,100
その他	357	356
貸倒引当金	35	35
投資その他の資産合計	3,662	3,421
固定資産合計	25,238	25,244
資産合計	62,192	61,212
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,428	12,856
1年内償還予定の社債	-	167
短期借入金	2,886	2,774
未払法人税等	539	1,854
賞与引当金	440	1,086
その他	4,900	4,228
流動負債合計	22,194	22,966
固定負債		
社債	3,500	3,500
長期借入金	1,351	1,885
退職給付引当金	1,588	1,741
その他	1,887	1,519
固定負債合計	8,327	8,645
負債合計	30,522	31,611

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,548	4,464
資本剰余金	4,281	4,197
利益剰余金	22,534	20,197
自己株式	108	108
株主資本合計	31,255	28,752
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	988	1,061
為替換算調整勘定	1,494	1,108
評価・換算差額等合計	506	46
少数株主持分	921	895
純資産合計	31,669	29,600
負債純資産合計	62,192	61,212

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	53,454	63,775
売上原価	45,412	53,123
売上総利益	8,041	10,652
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,729	2,109
給料手当及び賞与	1,436	1,502
賞与引当金繰入額	61	59
退職給付費用	60	55
減価償却費	61	55
その他	1,399	1,552
販売費及び一般管理費合計	4,748	5,334
営業利益	3,293	5,318
営業外収益		
受取利息	18	20
受取配当金	24	35
助成金収入	70	-
その他	111	148
営業外収益合計	225	204
営業外費用		
支払利息	126	104
為替差損	151	560
その他	34	47
営業外費用合計	312	711
経常利益	3,206	4,811
特別利益		
固定資産売却益	2	3
補助金収入	25	-
特別利益合計	27	3
特別損失		
固定資産処分損	53	57
投資有価証券評価損	69	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	12
特別損失合計	122	72
税金等調整前四半期純利益	3,110	4,742
法人税、住民税及び事業税	1,359	1,751
法人税等調整額	99	262
法人税等合計	1,458	2,013
少数株主損益調整前四半期純利益	-	2,729
少数株主利益	6	53
四半期純利益	1,646	2,675



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,110	4,742
減価償却費	3,374	2,983
退職給付引当金の増減額(は減少)	50	152
賞与引当金の増減額(は減少)	478	645
受取利息及び受取配当金	43	56
支払利息	126	104
投資有価証券評価損益(は益)	69	2
固定資産処分損益(は益)	50	54
売上債権の増減額(は増加)	5,755	3,343
たな卸資産の増減額(は増加)	328	536
仕入債務の増減額(は減少)	2,167	1,087
その他	22	582
小計	2,877	4,822
利息及び配当金の受取額	43	55
利息の支払額	124	102
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	317	3,016
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,113	1,758
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(は増加)	41	44
有形固定資産の取得による支出	529	2,098
有形固定資産の売却による収入	44	41
投資有価証券の取得による支出	22	356
その他	17	44
投資活動によるキャッシュ・フロー	483	2,502
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	40	346
長期借入れによる収入	151	-
長期借入金の返済による支出	784	628
リース債務の返済による支出	604	820
配当金の支払額	264	339
その他	20	13
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,562	1,454
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	150
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,079	2,349
現金及び現金同等物の期首残高	4,559	9,254
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,638	6,904

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	自動車部品関連事業 (百万円)	ワイヤーハーネス関連事業 (百万円)	福祉機器関連事業 (百万円)	自動車販売関連事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	50,566	1,433	804	649	53,454	-	53,454
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1	2	-	1	5	(5)	-
計	50,568	1,435	804	650	53,459	(5)	53,454
営業利益又は営業損失( )	3,227	40	111	20	3,278	14	3,293

(注) 1 事業区分の方法は、製品の種類別区分によっております。

2 各事業の主な製品

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| (1) 自動車部品関連事業    | 機構製品、電装製品           |
| (2) ワイヤーハーネス関連事業 | 航空機用及び工作機械用ワイヤーハーネス |
| (3) 福祉機器関連事業     | 電動車いす、義手、義足         |
| (4) 自動車販売関連事業    | 新車及び中古車販売、自動車修理     |

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	34,711	6,603	12,139	53,454	-	53,454
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	8,777	0	660	9,438	(9,438)	-
計	43,489	6,604	12,799	62,892	(9,438)	53,454
営業利益又は営業損失( )	2,514	213	959	3,260	32	3,293

(注) 1 国または地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

- |         |                    |
|---------|--------------------|
| (1) 北米  | 米国                 |
| (2) アジア | 台湾、フィリピン、中国、タイ、インド |

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	北米	アジア	その他	計
海外売上高（百万円）	6,607	15,126	93	21,827
連結売上高（百万円）	-	-	-	53,454
連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	12.3	28.3	0.2	40.8

（注）1 国または地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) 北米 米国、カナダ

(2) アジア 台湾、フィリピン、中国、タイ、インド

(3) その他 英国、イタリア

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、自動車部品関連事業については当社を中心に国内及び海外の包括的な戦略を立案しており、その他の事業については各子会社が事業活動を展開していることから、製品の種類別区分により、「自動車部品関連事業」、「ワイヤーハーネス関連事業」、「福祉機器関連事業」、「自動車販売関連事業」の4つを報告セグメントとしております。

「自動車部品関連事業」は主に機構製品、電装製品の製造販売を、「ワイヤーハーネス関連事業」は航空機用及び工作機械用ワイヤーハーネスの製造販売を、「福祉機器関連事業」は電動車いす、義手、義足の製造販売を、「自動車販売関連事業」は新車及び中古車販売、自動車修理を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 （注）1	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）2
	自動車 部品関連 事業	ワイヤー ハーネス 関連事業	福祉機器 関連事業	自動車 販売関連 事業	合計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	60,581	1,662	821	709	63,775	-	63,775
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	0	6	1	2	10	(10)	-
計	60,581	1,669	823	712	63,785	(10)	63,775
セグメント利益又は損失（ ）	5,199	41	83	20	5,303	14	5,318

（注）1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失（ ）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(7) その他の注記事項

表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

前第3四半期連結累計期間まで営業外収益に区分掲記しておりました「助成金収入」(当第3四半期連結累計期間 4百万円)は、営業外収益の総額の100分の20以下となったため、当第3四半期連結累計期間より「その他」に含めて表示しております。

#### 4. 補足情報

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	39,197	8,707	15,870	63,775	-	63,775
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	12,198	10	1,068	13,277	(13,277)	-
計	51,395	8,717	16,939	77,053	(13,277)	63,775
営業利益又は営業損失( )	3,803	224	1,769	5,348	(30)	5,318

(注) 1 国または地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) 北米 米国

(2) アジア 台湾、フィリピン、中国、タイ、インド